

「大すきなみんな」

三年

小林 こばやし

咲貴 さき

わたしはしょうがいのため、じぶん一人では歩くことも、立つこともできません。学校に行くのも、出かけるときも車いすを使っています。大すきなピンク色の車いすがわたしの足のかわりです。

歩く練習もします。やりたくないときもあるけど、お母さんのおうえんでがんばれます。ないてしまうときもあります。そういうときはお兄ちゃんもおうえんしてくれます。おうえんしてもらうと、がんばろうという気持ちになります。おうえんがすごくうれしいです。

学校に行くときは、お父さんが車いすをおしてくれます。お父さんが走ると、耳元で風がビュンビュンなるのがおもしろくて大すきです。学校が見えると、今日はどんな一日になるのかなとワクワクします。

学校に着くと、お友だちが「おはよう。」と声をかけてくれます。車いすをおしてくれるお友だちもいます。教室が二階にあるので、階だんはお父さん到手つだってもらって上ります。ランドセルは先生が持ってくれます。上がるとき、お友だちや上きゆう生が「さきちゃん、がんばれえー。」と声をかけてくれます。朝からとてもうれしい気持ちになり、パワーをもらいます。学校で一番楽しいのはお昼休みの時間です。お友だちと本を読んだり、カルタやお絵かきをしたりします。いっしょに遊ぶと、心がうれしくなります。下校時間も楽しみにしていることの一つです。同じ帰り道のお友だちと話しながら帰れるからです。わたしの帰りをまって、車いすをおしてくれるお友だちもいます。一年生のころは車いすのおし方がこわい時もあったけど、今は安心しておしてもらえます。六年生のお姉さんや中学生のお姉さんが車いすをおしてくれる時もあります。一年生や二年生の子が車いすをおしたいと言ってくれる時は「車いすがたおれてしまいそうでこわいな。どうし

ようかな。いやって言ったらどうなるかな？」と思いい、だまってしまいます。そういうときは、お母さんが「お母さんがおすのを手つだつてあげるから、そうしたらだいじょうぶ？おしてもらおう？」とたすけてくれます。お母さんが手つだつてくれていても「だいじょうぶかな？」と思ってしまう。一年生や二年生の子におしてもらうのは心ばいだけど、声をかけてくれるのはうれしいです。

体が思った通りに動かさなくてくやしいときもあるけど、お友だちや先生、家ぞくのお手つだいで楽しくすごしています。わたしはやさしいみんなが大すきです。お母さんは「歩けないからつてがまんしなくていいよ。何でもやってみたら？」と言います。これからもみんなに手つだつてもらいながら、いろいろなことにちょうせんしていききたいです。